



未来に繋がる自分へ繋げる



● 教務部ロビーにアクティブラーニングスペースができました！	2・3
● 新任教員自己紹介	4・5・6
● 交換留学生の横顔	8
● サークルの活動報告	13
● KOMAZAWA NEWS	14
● 活躍する卒業生 株式会社スクウェア・エニックス 執行役員 橋本真司さん	16

教務部ロビーにアクティブラーニング

リニューアルし、アクティブラーニングスペースを拡充



2013年度に実施した教務部ロビー利用者アンケートで「学内でグループ学習を行う設備やスペースがほしい」という意見が多数あり、教育後援会の支援を受けて本年度4月15日より新しくアクティブラーニングスペースとして整備しました。

アクティブラーニングとは？

グループディスカッションやプレゼンテーションといった「能動的」な学習のことで、授業への理解度を高める効果があると近年提唱されています。

グループ学習環境が充実

●学習用の机・イス

昨年までは机16台・イス48席でしたが、リニューアル後は、勾玉型机19台、楕円型机3台、イス75席に増え、約1.5倍の人数で利用できるようになりました。

勾玉型の机は、人数に応じて自由に組み合わせて使用できます。



●ホワイトボード

以前より設置していた7枚に加え、可動式のコンパクトなボードを8台増設しました。複数枚使って利用することも可能です。教務部窓口でホワイトボードマーカーの貸し出しを行っています。



●学習用モニター

大画面の学習用モニターを2台導入しました。教務部窓口で貸し出しを行います。また同じフロア内にある総合情報センターサポート窓口では、ノートパソコンの貸し出しを行っています。併せて活用してください。



●貸し出し窓口

貸し出しできるもの	窓口	利用可能時間
ホワイトボードマーカー	教務部⑦～⑩番窓口 ※平日18:00以降、土曜日15:00以降は夜間事務センターで貸し出します。	平日 9:00～20:00 土曜日 9:00～17:00
学習用モニター	教務部⑦～⑩番窓口	平日 9:00～18:00
電源ケーブル		
ノートパソコン	総合情報センターサポート窓口	平日 9:00～20:00 土曜日 9:00～17:00

※ 授業のない期間は貸出時間が変わることがあります。



ウイ・ゲン・シユタ
インの『論理哲学
論考』を締め括る

一文が「語りえぬものについては沈黙しなければならない」であることはよく知られている。ここで問うべきは「語りえぬもの」の中味だが、語ることが不可能なものは文字通り語れないというのがその趣旨だとすればこの一文は単なる同語反復となる。問題はむしろ、語るべきでない対象について私たちが語れると思っているという現実にある。◆ヘラクレイトイ

の徒クラテュロスは流転する万物を言葉で語ることはできないと考え、ただ無言で指を動かすだけだったと伝えられる。「指月布袋図」を連想させるようなこの逸話は、その真偽のほどはともかく、言語による真実への到達可能性に疑問を投げかけるものである。◆月が美しいから「美しい」と語るのか、「美しい」と語った途端に美しさが立ち現れるのかという、鶴が先か卵が先かの議論も古くて新しい。言語を操る人間だけに美的感覚が備わっているのだとすれば、言語から独立に美

は成立しないようにも思われるが、フェルメールの絵を「美しい」と語った途端に自らの言葉をどこか物足りなく感じるのもまた事実である。◆部分的にではあれ言葉によって現実が制作されるのだとすれば、魔法使いならずとも言葉はそれ自体として一種の呪文だと言える。講義形式の授業ではまさにそうした言葉が頼みの綱であり沈黙するわけにもいかないが、前期の授業を振り返ってみれば、「語り」が「かたり」になってはいないか、反省すべき点は多い。

グースペースができました!!

利用者の声

学外で実施されるプレゼンテーション大会に出場するため、ゼミ仲間と利用しています。以前からこのロビーを利用していましたが、今回のリニューアルにより学習利用しやすい雰囲気になりました。机の表面がフラットでメモも楽に取れますし、キャスター付きの椅子も嬉しいです。

学習用モニターは、資料の確認や発表練習をするときに便利だと思います。



研究でアクティブに! 挑戦する駒大生たち

どんな挑戦をしていますか?

私たちは、「日本経済ゼミナール大会」のプレゼン部門で全国3位に輝きました。この大会は60年以上の歴史を持つ国内最大の学生による学術大会で、全国から約500のゼミが参加します。瀬戸岡ゼミは、毎年異なるテーマを探究するサブゼミを5



3位に輝いたゆーとぴあチーム

～10個結成し、それぞれがこの大会に連続33回参加してきました。参加当初の先輩たちは人前で話すことに恐怖心もあったと聞いていますが、ゼミの根幹であり代々受け継がれている「主体的に学ぶ」姿勢で、より高度で説得的なプレゼンになるよう毎年工夫を重ねたことが、受賞に繋がった理由だと思います。

プレゼン大会決勝進出までの道のり

受賞したゆーとぴあチームは17人いたので、一人ひとりが共通理解を持つことが大変でした。このため、一人でも疑問を持てば、先に進めず話し合うことを徹底しました。ときには他のチームにも協力してもらい客観的なアドバイスを得られたことで、チーム一丸となって目標を見据え、大会に臨むことができました。

日頃のグループ学習方法

毎週1～2回、3時間程度の学習会・研究会を行い、夏休みにも検討会や実態調査を行います。各サブゼミは4～5人の班に分かれ、事前準備した資料を基に議論し、その結果をチーム全員で共有しています。プレゼンの練習には特に力を入れており、全員参加で論理の展開・聞き取りやすさ・問題点などを出し合うほか、直前には教場を借りて本番同様の形式で行います。上級生はとても親切、下級生は極めて前向きなので、各自の課題を見つけ、自らの意見を持てるようになります。



教場でのプレゼン練習

経済学部 瀬戸岡紘ゼミ

経済学科4年 荒井 勇人

瀬戸岡ゼミって

どんなゼミ?

現在の4年生が38期生。1期生以来のゼミ生の累計は1200人を超えます。学習・研究以外にも東北被災地支援活動など多彩に活動しています。1期生以来欠かさず刊行してきた『瀬戸岡ゼミ論集』には、卒業論文のほか、日本学生経済ゼミナール全国大会で発表した原稿、個人のエッセイなどが収録され、毎年数百ページにおよぶ日本一分厚い学生論文集として他大学からも注目されています。

今後は…

今まで、サブゼミやその他の自主活動のための場所を探すのが大変でした。

新しくできたラーニングスペースで大型モニターなどを活用したいと思います!

皆さんもこのスペースを利用して、アクティブな学びにチャレンジしてください!

新任教員自己紹介

ポテンシャル、 引き出します



仏教学部 講師
徳野 崇行

仏教学科に着任しました徳野崇行と申します。日本における死者供養の歴史と現代的展開を主な研究テーマとしています。担当している仏教文化史では、死者の弔いの歴史や文化について考古学的な資料や中世絵巻、近世文学の挿絵などの図像資料を活用しながら講義をしています。ゼミでは弔いの文化だけでなく、駒澤大学が江戸の情緒を残す東京に所在していることに着目し、四季を彩る様々な祭礼や行事を紹介しながら日本の宗教文化をゼミ生とともに研究しています。よろしくお願いします。

「古人」の視点で 漢文学を楽しむ



文学部 講師
高山 大毅

国文学科に着任した高山大毅です。日本の漢文学について江戸時代を中心に研究しています。漢詩文というと堅苦しい印象を持たれがちですが、江戸時代の人々は、思わず笑ってしまうような遊戯的な作品も多く残しています。当時の人々が漢詩文を読み、作る時に感じた面白さを再現することを目指し、文学史と思想史の二つの領域にまたがるような研究を進めています。学生の皆さんに、高校で習った「漢文」とは一味も二味も違う、漢文学の奥深い魅力を知ってもらえるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

変容する 日本社会について考える



文学部 講師
濱田 国佑

社会学科に着任した濱田国佑と申します。地方工業都市における日系外国人、北海道におけるアイヌ民族など、日本の地域社会における民族的マイノリティの問題について研究を行っています。また、マイノリティに対する寛容性や諸外国に対して向ける意識についても関心を持っています。近年、グローバル化が急速に進む中で、日本社会のあり方は大きく変化しており、将来に対する見通しが持ちづらい時代になっています。変容しつつある日本社会の諸問題を学生の皆さんとともに考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

有意義な学生生活を



文学部 助手
中嶺 志歩

文学部社会学科の助手として着任いたしました中嶺志歩と申します。主に社会福祉士・精神保健福祉士の実習のサポートをやらせていただいています。実習はスタッフや利用者、また地域の方々との交流を通して福祉の現場を実際に肌で感じ、考え、学ぶことのできる貴重な機会です。有意義な実習となるよう精いっぱいサポートしていきたいと思います。また、私のいる社会福祉実習指導室はボランティア情報をはじめとした福祉の情報がたくさん集まる場所でもあります。興味のある方はお気軽に声をかけてください。よろしくお願ひいたします。

これまでの経験を生かした 学習・研究支援を



文学部 助手
久保 尚也

4月より心理学科助手に着任いたしました久保尚也と申します。昨年度までは兼任講師として講義科目や実習科目など、さまざまな科目を担当させていただきましたが、今年度からは授業や研究の支援という形でかかわらせていただくことになりました。これまでの兼任講師や一研究者としての経験を生かし、皆さんの学習や研究、さらには学生生活が実りあるものになるよう様々な支援をしていきたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。何か困ったことがあればお気軽に心理学科助手室までお越しください。

楽しく議論しましょう！



経済学部 講師
井上 智洋

本年度より経済学部に着任した井上智洋です。私の専門は数理的なマクロ経済学ですが、ゼミでは数学はあまり使わずプレゼンテーションとディスカッションを重視します。そういう技能は、皆さんのが就職活動をするときや社会に出たときに大変役に立つからです。ゼミのテーマは「経済政策と経済問題」です。アベノミクス、少子高齢化、地域活性化、所得格差など様々な問題を扱って、皆で楽しく議論していきます。皆さんのが有意義な大学生活を送れるよう願っています。私がそのための力になれたらと思います。どうぞよろしくお願ひします。

学生時代 「よく学び、よく遊べ」



経済学部 講師
福島 浩治

4月から国際経済論を担当しております福島浩治です。「国際経済」というと、アメリカ、EU、日本などを軸とした地理的・人口的に限定された国際経済関係を想起しがちですが、私自身の関心は、アジア・アフリカ・ラテンアメリカなど途上国経済や新興国経済の視点からみた国際経済全体のあり方や、両者の関係性の成り立ちや現状そして今後の展望にあります。人類と地球環境が、グローバル経済の時代に「共生」できる仕組みと道筋とを、多様で豊かな実践をされているローカルな現場に学びながら、学生の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

客観的に分析する力



経済学部 講師
増田 幹人

専門は人口論で、日本人口の動きと社会経済の関係について、数量分析の手法を用いて研究しています。日本では今後、少子高齢化とともに人口減少が進んでいくので、人口論の重要性は高まっています。私は、駒澤大学で勤務する前は、内閣府で経済財政白書の執筆や政策効果の分析等を行ってきましたが、そこで学んだ重要なことは、根拠を数字として示すことと、分析結果を分かりやすく説明することでした。学生の皆さんには、人口論を通じてこのことを理解してもらい、社会経済問題を客観的に分析する能力を身につけてもらいたいと思います。

論理的思考を身につけよう



経済学部 講師
深見 泰孝

経済学部で証券市場論を担当する深見泰孝と申します。証券市場の歴史的分析と証券会社経営を研究しています。証券業界では90年代末に、金融ビッグバンや株式売買委託手数料の自由化という大きな変革がありました。経営環境が変化すれば、証券会社のビジネスモデルも変化せざるを得ません。このテーマに、私は文献などを通じた分析に加え、証券会社の経営者の方々や規制当局の方々へのインタビューも行い、研究しています。また、ゼミでは、学生たちが「今、起きている問題」を論理的に説明できるよう、学生とともに学びたいと思っています。

小さな会社を見てみましょう



経営学部 准教授
小野瀬 拡

ベンチャー企業論担当の小野瀬です。ベンチャー企業や長寿企業などをメインに中小企業全般を研究しています。ベンチャー企業は小規模から急成長する会社のことで、社会を変えていきます。たとえばプロ野球チームをもつ楽天は買い物の概念を変えましたが、はじまりは従業員6人の小さな会社でした。駒澤大学はベンチャー企業のあつまる都心部に近いだけではなく、豊かな自然をあわせもっており、研究と教育に絶好の環境です。ぜひここで小さな会社を見てみましょう。

駒澤大学の 新たな社会貢献をめざして



医療健康科学部 教授
保科 正夫

皆さんにとって“がん”、放射線治療は先送りしたい事柄だと思いますが、それを私は積極的に教える立場にあります。医療健康科学部の目的は放射線診療に関わる医療従事者の教育です。その中で放射線治療は重要な分野の一つです。日本では世田谷区の人口程度が、残念ながら毎年がんによって亡くなられています。このことを改善するための施策が、国をあげて打ち出されています。その中で放射線治療に関わる医療従事者の育成も重要な事項です。駒澤大学の社会貢献を一層すすめるためにも、学生教育を介してこのことに関わっていきます。

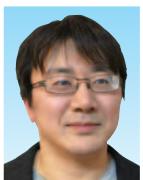
社会のニーズに応えるマーケティング



グローバル・メディア
スタディーズ学部
准教授
朴 正洙

マーケティングが専門領域です。世界各国の消費者を対象とした実証研究を続けています。この研究は欧米を中心として行われてきた先行研究だけに頼らず、アジアの消費者を対象とした研究成果を蓄積することも目的としております。学生の皆さんには、問題を発見しそれを解決するための「分析能力」、ならびにそれに基づいて必要な物事を適切に伝達する「コミュニケーション能力」と「行動力」を大学生活の中で身につけてください。このような能力は、人とのかかわりからより高められると思います。様々な人との出会いを楽しんでください。

難しいけれども、それだけに楽しい



総合教育研究部 講師
滝沢 正之

専門は「哲学」です。なんだか意味がわからない、しかし、どうしても気になる、そんな奇妙な問題のいくつかを、過去の偉大な哲学者たちの助けを借りながら考えています。「時間はどこから流れてくるのか」「なぜ人間は神に心惹かれるのか」「どうすればものごとを正しく知ったことになるのか」などなど。学生の皆さんには、理屈を徹底的に捏ねまわす楽しさ、そして、人文系の古典的な著作を読みしていく楽しさを伝えることができたら、と思っています。

未知の言語への誘い



総合教育研究部 講師
下園 りさ

皆さんこんにちは。今年度より着任した下園りさです。専門はドイツ文学で、ドイツ語を担当しています。ドイツ文学を専攻していると、なぜ苦労してわざわざ外国語で書かれた文学を読むのだろうと疑問に思うこともあります。母語でないからこそ気づくことのできる問題もあります。皆さんも将来使うかも分からぬ外国語をなぜ学ばなければならないのか疑問に思うこともあるかもしれません。しかし、未知の言語を学ぶことは、自分の思考の枠組みから一歩抜け出すチャンスだと思います。皆さんと一緒に勉強できることを楽しみにしています。

コミュニケーションの在り方と重要性



総合教育研究部 助教
出井 章雅

専門はテニス競技で研究分野はコーチング学・ゲーム分析です。私は現役選手を引退後、大学院時代に海外帶同コーチなど海外経験を経て、人の繋がりやコミュニケーションがいかに重要な感じてきました。また世界のテニス事情や指導論を研究してきた経験を基に学生の皆さんの明るい未来に少しでも役立てていただければ幸いです。そして運動・スポーツの楽しさを多くの学生と共有していきたいです。授業では駒沢キャンパスと玉川キャンパスの両方を行き来しておりますが、今後ともよろしくお願ひいたします。

盂蘭盆会

総合教育研究部 教授 佐藤 憲昭

盂蘭盆会（略してお盆）は、火を焚いてご先祖たち（祖靈・死靈）をお迎えし、懇ろにもてなしてから、再び火を焚いてお送りする行事である。このお盆の期間に、僧侶たちは檀家回りをしているが、どうしてであろうか。

『仏説盂蘭盆經』には、お盆の起源と僧侶の特質について触れている。それによれば、釈尊の十大弟子の一人、目連は神通力によって、亡き母親があの世でひどい苦しみを受けているのを見た。目連は泣き悲しんで釈尊に救いを求めるが、次のように教えたという。

「僧たちの3ヵ月間に及ぶ修行が終わる7月15日は、一堂に会して反省会を開く。彼らが修行で体得した威神力（尋常ではない聖なる力）は、この日、頂点に達する。そこで、彼らに布施をするならば、僧たちの不思議な力が發揮されて母親は救済されるであろう」と。目連は、その通りに実行して母親を救うことができた。これがお盆

の起りである。

この内容で、注目したいところは、修行を積むことによって僧侶に威神力が具えられ、しかも、この威神力は死者の苦しみを救済する力があると思われている点である。お盆の期間中、僧侶が檀家を回り、読経をするのは、修行で蓄積された威神力を發揮して、苦しんでいる諸精霊を救済し、成仏させる営みであることが分かるであろう。

盂蘭盆会は、上記のほかにも、さまざまな要素が結合して成立している行事であるが、僧侶がそこで果たしている役割は、大変に大きいといえるのである。





法科大学院 無料法律相談会・市民ロースクール開催

法科
大学院

5月23日（土）、今年度第1回目の無料法律相談会が行われました。これは、法科大学院と、本学が提携している第一東京弁護士会の公設事務所である渋谷シビック法律事務所、及び法テラス東京が共催し、臨床法学教育として年2回開催されるものです。また、無料法律相談会は、地域貢献としての意味も持っており、毎回募集開始と同時に相談枠が埋まるぐらい好評をいただいている。今回は9人が相談に訪れ、5人の学生が弁護士による相

談に立ち合いました。

市民ロースクールも法科大学院が行う地域貢献活動の1つとして年1～2回開催されており、その多くは「せたがやeカレッジ」のコンテンツとしても配信されていますが、第6回目となる市民ロースクールが7月4日に開催されました。今回は講師に法科大学院非常勤講師の中辻衣佐先生をお迎えし、「犯罪と刑罰－世界一安全な国・日本」と題してご講義いただきました。会場となった法科大学院棟の法廷教室

には多くの近隣住民の方が訪れました。

(法科大学院 教授 若林 亜理砂)



研究こぼれ話

道元禅師と科学

仏教学部 教授 角田 泰隆



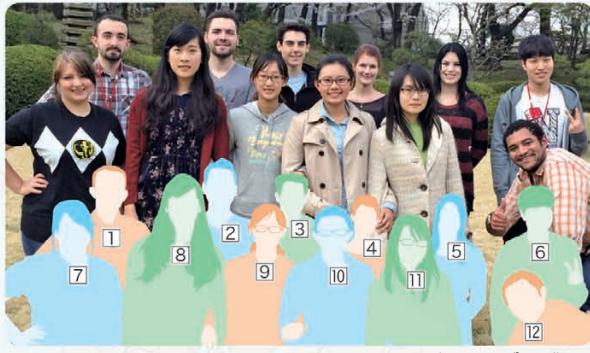
道元禅師の研究をしていると、思わず人から手紙やメールをいただくことがある。特にマスメディアの影響は多大である。7年ほど前（2008年度）、1年間NHKテレビ「こころの時代」で『正法眼蔵隨聞記』をテキストに道元禅師の教えを語ったが、NHKを通じて思わず学者からメールが届いた。京都大学、物質・細胞統合システム拠点（iCeMS＝アイセムス）拠点長の中辻憲夫教授からである。中辻教授はこの「こころの時代」を見てコメントをとってきたのである。当時、中辻教授は受精卵からES細胞（万能細胞）を培養することに成功しており、大きな注目と、そして生命倫理の問題で批判も受けている。iPS細胞の培養に成功しノーベル医学・生理学賞を受賞した山中伸弥教授の研究は、この中辻教授の研究に基づくものである。その後、中辻教授は「道元のことばと科学者」と題する原稿を寄稿してくださり、私は京都大学へ招聘されて、2009年12月、iCeMSインテグリティーセミナーで「如何に生きるべきか－仏教が説く実践哲学と禅僧道元の人生訓を中心に－」と題する講演を行った。科学研究者の世界でも、捏造論文は極端としても、十分にすべき実験を省略したり、結論に添わない実験データを十分検証しないようなことが多発しているという。中辻教授は、道元禅師の教えが、本来の研究者の生き方やその責任を喚起する契機になればとこのセミナーに期待したのである。その期待に応えられたかはわからない。しかし、仏教や禅は、それらの期待に応えられる素晴らしい教えを持つものと私は確信している。

2つの政府統計の差

経営学部 教授 鹿嶋 秀晃



企業経営を研究するのには難しい部分がある。経営学の研究対象である企業は、自社の評価を高めたり、宣伝になったりする内容は積極的に公表するが、不都合な情報はできるだけ外に出さないようにする傾向がある。その1つがサービス残業と呼ばれる賃金不払い残業である。労使間で紛争となった場合に裁判の場で賃金不払いの実態が詳らかになるケースはあるが、多くの場合各社暗黙の了解事項となっていてなかなかその実態がつかめない。しかし、その概要を把握するのに政府統計が使える。厚生労働省が実施している「毎月勤労統計調査」と総務省が実施している「労働力調査」である。前者は所定外労働の延べ時間と超過労働給与の総額を各事業所に記入させるもので、各月の「実際に支払われた時間」が出てくる。後者は企業を介さない世帯調査であり、週あたりの「実際に働いた時間」が出てくる。それぞれ1カ月単位、1週間単位であるが、1年分を合計すれば当然同じ数字にならなくてはならない。ところが両者の間には年間で約300時間の差が存在する。これがサービス残業の概数であり、このやり方は我々の研究分野では共有された算出方法である。仮に正社員の時給を3,000円とすれば不払い額は $3,000\text{円} \times 300\text{時間} \times 1.25\text{倍}$ （割増分含む）で雇用者1人当たり112.5万円もの金額になる。日本人の働き方を変えなくてはならないという議論がよくあるが、まずこのサービス残業という存在をなくさない限り、現状を正しい物差しで測ることができないから、ワークシェアリングにしても、生産性向上にしても建設的な話がない。



① エクス・マルセイユ大学(フランス) 社会学科 ヴァンサン
Mounie, Vincent

② アーカンソー工芸大学(アメリカ)
グローバル・メディア学科 レイキー・ウェスタン
Lakey, Westan

③ アーカンソー工芸大学(アメリカ)
グローバル・メディア学科 ブラウン・シェルビー
Brown, Shelby

④ クイーンズランド大学(オーストラリア)
グローバル・メディア学科 ジェフリィ・ゾーイ
Jeffery, Zoë

⑤ グリフィス大学(オーストラリア)
グローバル・メディア学科 ドワード・エリン
Dorward, Ellyn

⑥ 東国大学校(韓国) 国文学科 キム・ジンヒヨク
Kim, Jinyeok

⑦ アーカンソー工芸大学(アメリカ)
グローバル・メディア学科 ポエム・テイラー
Boehm, Taylor

⑧ 華東師範大学(中国) 国文学科 陳 想想
Chen, Xiangxiang

⑨ 華東師範大学(中国) 国文学科 申 智斌
Shen, Zhibin

⑩ 淡江大学(台湾) 政治学科 蔡 瑪麗
Cai, Mary

⑪ 淡江大学(台湾) 国文学科 陳 怡樺
Chen, Yikua

⑫ エクス・マルセイユ大学(フランス) 仏教学科 マレーシャル・ヤニス
Marechal, Yannis



交換留学生の横顔

キャンパスで見かけたら、声をかけてください

駒澤大学での生活を
楽しんでいます！

ブラウン・シェルビー
Brown, Shelby

グローバル・メディア・スタディーズ学部 交換留学生
アーカンソー工芸大学(アメリカ)所属



Westan Lakey, Taylor Boehm, and I, Shelby Brown, are from Arkansas Tech University. The three of us began learning Japanese together at Tech with our own specific reasons for wanting to learn Japanese.

The one major factor pushing me to want to learn Japanese at a quicker pace is the people. Komazawa Exchange students who went to Arkansas Tech a couple of years ago were always willing to help me; Komazawa students here are also always willing to help. This constant willingness to help is something not found everywhere in the world and I treasure everyone that pushes me. The dream of becoming fluent in Japanese and exploring the wonders of the culture and history that one can only fully experience if fluent in that language is slowly but surely getting closer every day I live here in Japan.

I have already learned so much about the people, culture, and language. I want to continue having fun with my studies and thank everyone who has helped me do so.

経営学部 活動レポート

青木茂樹ゼミ 桜新町プロジェクト

経営学部経営学科3年 田中 幹久



陽気で暖かい雰囲気と八重桜に包まれる環境を持つ桜新町。それを知らずに訪れない駒大生がいることをもったいないと感じ、桜新町商店街主催の「さくらまつり」情報や街の魅力を発信するイベントを企画しました。

学生アンケートで知ることのできた「食事の場が欲しい・友だちと仲良くなりたい」というニーズに応えるために、取材で得られたお店や散歩コース

情報をInstagramで配信したり、マップ・ポップ・DVDを作成して学食で設置・放送しました。また情報誌『Doraneco』も創刊し、新入生や女子学生に配布しました。

商店街の方々との連携では苦労することもありましたが最後まで協力いただき、私たちの思いを届けることができたと思います。



ポップ作りの様子

KOMAC 学食でのデリ販売

経営学部市場戦略学科3年 中井 舞



KOMACのメンバー

ゼミ横断的に有志で組織する私たち「KOMAC」は、学生の食生活が不規則になりがちだという点に着目し、「疲労回復」「美容」「ダイエット」などが期待できるおかげを用意したDeliの販売を学食で行いました。

今回行ったことは「食品を売る」という言葉にしてみればシンプルなことですが、長期休み中でもほとんど毎日大学に来て学食や総務部、教務部に相談をしたり、組織内で意見がぶつかりあったりするなど、大変なことが多くありました。しかし、その経験を通して、大学では想像以上に多くの部署が関わっていることや、モノを売る仕組みの複雑さを学べたこと、また他のゼミの文化を知ることができたことは、私たちの人生にとって大きなプラスになりました。



自由に選べるデリ

医療健康科学部 診療放射線技術学科4年 及川 朋子

保科・佐藤研究室は、大学院博士課程2年1人、修士課程2年2人、1年3人、学部4年10人、3年6人の計22人が所属しており、放射線治療・放射線計測について研究しています。

現在、日本の死因第1位はがんであり、日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで死亡しています。がん治療は手術、化学療法とともに放射線治療が有力な治療法です。放射線治療は切らずにがんを治すことが可能で、体への負担が少ない治療法です。欧米では新規がん患者の約70%に放射線治療が行われているのに対し、日本では36%とまだ少なく、今後高齢化社会に向けて増えていくことが予想されます。

私たちは日本放射線技術学会のセミナーや研究会に積極的に参加しており、日本放射線技術学会東京支部における平成26年度学術大会研究発表において、2人が新人研究奨励賞を受賞しました。また、第1種放射線取扱主任者試験(全国合格率 約25%)の合格を目指のひとつとしています。現在合格者は9人おり、今年受験するゼミ生も多くいます。



さらに大学院への進学を考えている学生も多く、学習意欲を高めあえる環境の中で、4年生は卒業研究と診療放射線技師国家試験に向けての勉強に励んでいます。月に一度、定例会を行っており、先生を含めゼミ生全員が集まり研究活動・学会参加報告をし、より良いゼミにするための意見を交換しています。学習面に加え、毎年行っている夏合宿やOB・OGの方との親睦会等を通して、コミュニケーション能力を身につけ、チーム医療に貢献できる診療放射線技師を目指しています。

図書館の今

2015春の選書ツアー

「選書ツアー」とは、学生が自ら図書館に配架する本を選ぶ取り組みです。学生の要望に応えるひとつの方法として、また、学生が興味・関心を抱く図書を把握することでより満足度の高い図書館運営を行うことを目的に、昨年度から実施しています。

第2回目となったこのツアーは学生16人が参加し、5月23日(土)に三省堂書店神保町本店で開催しました。一般の利用客に混じり、マナーよく熱心に選書を行う姿からは意識の高さを感じられました。最後は全員で記念撮影を行い、学部の垣根を越えた交流も持てたことで、有益な時を過ごしたのではないでしょうか。



参加学生がPOP作成した選書本は、9月26日(土)まで2階展示スペースに置いています。同じ学生の目線で選び、作成された展示ですので、皆さんにとって大きな刺激となることでしょう。



選書を行う学生たち

図書館学修支援員(LA)がアドバイス

本学で図書館学修支援員制度がスタートし、本年度4月より2階のレファレンスカウンターで、3人の図書館学修支援員 (Library Adviser、以下LA) が皆さんの学修をサポートしています。レポートやプレゼンテーションの基本についてアドバイスを行います。今年度のLAは、宗教学・仏教分野、歴史学分野が専門領域です。ぜひ、遠慮なく相談にお越しください。

また希望分野のLAが不在の場合は、レファレンスカウンターに申し出てください。LAへの連絡や、相談予約を受け付けることができます。

問い合わせ先／LAサポートデスク lib-la@komazawa-u.ac.jp

【担当分野・曜日・時間】

■宗教学・仏教分野



富田信隆 LA
月・火曜日
12:00 ~ 13:30



廣瀬良文 LA
水曜日
14:40 ~ 17:50

■歴史学分野



舟久保大輔 LA
木曜日
14:40 ~ 17:50

平成26年度決算について

学校法人駒澤大学の平成26年度決算は、監事および公認会計士の監査を経て、平成27年5月26日の理事会・評議員会において承認されました。

1.資金収支計算書

【収入の部】

前年度繰越支払資金144億6,552万円を除いた当年度収入は275億6,282万円となりました。主な収入項目は、学生生徒等納付金収入156億1,748万円。入学検定料などの手数料収入9億9,678万円。駒澤大学開校130周年記念寄付金や教育後援会・同窓会・駒澤会・KUサポート等からの寄付金収入4億508万円。国や地方公共団体からの補助金収入15億7,443万円。有価証券等の運用による資産運用収入20億1,236万円。岩見沢校地・祖師谷グラウンド一部売却などの資産売却収入11億6,208万円。私学退職金財團等交付金などの雑収入14億2,904万円。翌年度授業料・入学生等の前受金収入73億196万円。各種引当特定資産からの繰入等のその他の収入50億3,541万円。これらに資金収入調整勘定、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計は、420億2,834万円となりました。

【支出の部】

次年度繰越支払資金170億6,185万円を除いた当年度支出は249億6,649万円となりました。主な支出項目は、人件費支出104億4,566万円。教育活動・研究活動・学生生活支援などの教育研究経費支出41億6,643万円。教育・研究を間接的に支援する管理経費支出9億9,013万円。日本私立学校振興・共済事業団、市中銀行等への借入金等返済支出26億3,178万円。駒澤大学百周年記念講堂改修工事、玉川駒Dining建設工事、仮設談話室建設工事、図書館照明器具更新工事、附属苦小牧高等学校駐車場舗装工事等の施設関係支出4億5,515万円。駒澤大学百周年記念講堂客席更新、玉川第2体育館体操器具、AV教場機器、附属苦小牧高等学校バス等の教育研究等に要する機器備品や図書などの設備関係支出3億4,294万円。各種引当特定資産への繰入等の資産運用支出56億5,000万円。これらにその他の支出、資金支出調整勘定、次年度繰越支払資金を加えた支出の部合計は、420億2,834万円となりました。

2.消費収支計算書

【消費収入の部】

学生生徒等納付金や補助金など負債とならない収入である帰属収入は、岩見沢校地売却・祖師谷グラウンドの一部売却及び有価証券償還

平成27年度予算について

学校法人駒澤大学の平成27年度予算は、平成27年3月26日の理事会・評議員会において承認されました。

平成27年度から学校法人会計基準が改正され、これまでの「資金収支計算書」及び「消費収支計算書」から「資金収支計算書」(一部変更)及び「事業活動収支計算書」へと変更されました。

「資金収支計算書」については、基本的な考え方には大きな変更ではなく、勘定科目的名称、計上箇所が変更されました。

一方、「消費収支計算書」は、「事業活動収支計算書」へと名称が変更され、様式も大きく変わりました。従来の「消費収支計算書」は、消費収入と支出の均衡状況を明らかにするもので、全体の収支バランスを把握するための様式でした。これに対して、「事業活動収支計算書」では当該会計年度の事業活動ごとの成果を明らかにするために、収支を経常的なものと臨時のものとに区分しています。経常的な収支については、さらに「教育活動収支」と「教育活動外収支」に分けています。「教育活動収支」は学生生徒等納付金や人件費、教育研究経費など、本業の教育研究活動における経常的な収支を示し、受取利息・配当金や借入金等利息のような財務的な活動は「教育活動外収支」として表示しています。臨時の収支である「特別収支」では、施設設備に関する補助金・寄付金や資産処分差額など、臨時に発生した収支を示しています。

これらのように区分することにより、それぞれの事業活動ごとの収支状況を表すようになりました。

1. 資金収支予算書

【収入の部】

前年度繰越支払資金137億95万円を除いた当年度収入は251億6,271万円となっています。学生生徒等納付金収入155億477万円（1億239万円減）。手数料収入は、入学検定料収入9億7,309万円を含めて9億9,689万円（4,884万円減）。寄付金収入は駒澤大学開校130周年記念棟建設寄付金、及び教育後援会・同窓会・駒澤会・KUサポート等からの寄付金で2億300万円（1億7,825万円減）。国や地方公共団体からの補助金収入16億6,055万円（1億5,792万円増）。有価証券の満期償還による資産売却収入12億円（5億8,680万円増）。付随事業・収益事業収入2億18万円（238万円減）。受取利息・配当金収入4億3,845万円（11億1,040万円減）。私学退職金財團等交付金などの雑収入6億1,749万円（3億1,575万円減）。駒澤大学開校130周年記念棟建設等のための借入金等収入25億400万円（25億円増）。翌年度の収入となる前受金収入69億164万円（1億5,294万円減）。その他の収入・資金収入調整勘定・前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計は388億6,366万円です。

【支出の部】

翌年度繰越支払資金136億9,990万円を除いた当年度支出は251億6,375万円となっています。人件費支出102億6,367万円（2億6,206万円減）。教育活動・研究活動・学生生活支援などの教育研究経費支出47億2,005

等による資産売却差額13億1,335万円を含めて235億8,947万円となりました。

基本金組入額は10億2,340万円となり、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は225億6,606万円となりました。

【消費支出の部】

人件費・教育研究経費・資産処分差額等の消費支出は185億2,893万円となりました。このうち17億3,597万円は減価償却額によるものです。

【消費収支差額】

消費収入が消費支出を上回った結果、本年度の消費収支差額は40億3,714万円の消費収入超過となりました。また、岩見沢校地資産除却に伴い基本金18億1,370万円を取り崩したことにより、累積の翌年度繰越消費支出超過額は230億74万円となりました。

3.貸借対照表

【資産の部】

平成26年度末の資産総額は882億9,488万円（前年度比25億3,064万円増）となりました。有形固定資産は、駒澤大学百周年記念講堂改修工事、玉川駒Dining建設工事、仮設談話室建設工事等で増加したものの、岩見沢校地に係る施設設備の処分や減価償却等により17億7,065万円減少しました。その他の固定資産は、減価償却引当特定資産などの特定資産の増加等により20億4,098万円増加しました。流動資産は現金預金、有価証券の増加等により22億6,031万円増加しました。

【負債の部】

負債総額は209億9,315万円（前年度比25億2,990万円減）となりました。そのうち固定負債は退職給与引当金が計上基準変更に伴う組入等により増加したものの、長期借入金等の減少により10億162万円減少しました。流動負債は短期借入金や前受金等の減少により15億2,828万円減少しました。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた純資産（正味財産）は673億174万円（前年度比50億6,054万円増）となりました。

【基本金の部】

基本金総額は903億248万円（前年度比7億9,030万円減）となりました。

【消費収支差額の部】

本年度、消費収入超過となったことに加え、岩見沢校地資産除却に伴い基本金を取り崩したことにより、翌年度繰越消費支出超過額は前年度比58億5,084万円減少し、230億74万円となりました。

万円（3,035万円減）。教育・研究を間接的に支援する管理経費支出8億6,565万円（2億3,291万円減）。借入金等利息支出1億3,358万円（3,857万円減）。日本私立学校振興・共済事業団等へ返済する借入金等返済支出13億3,658万円（12億9,520万円減）。駒澤大学開校130周年記念棟関連支出、玉川校舍改修工事費、KOMANetリブレイス関連工事費等の施設関係支出40億1,520万円（31億9,261万円増）。教育研究に要する実験実習器具等の機器備品や教育図書などの設備関係支出6億4,130万円（2億3,887万円増）。第2号基本金引当特定資産、減価償却引当特定資産等繰り出し等の資産運用支出29億5,000万円（16億440万円減）。予備費2億3,450万円（増減なし）。その他の支出・資金支出調整勘定・翌年度繰越支払資金を加えた支出の部合計は388億6,366万円です。

2.事業活動収支予算書

【経常収支】

①教育活動収支

教育活動収支は、本業である教育研究活動を行うための収入・支出です。

学生生徒等納付金や経常費補助金などの教育活動収入計189億7,220万円（5億5,054万円減）から人件費、教育研究経費、管理経費などの教育活動支出計175億1,620万円（3億6,573万円減）を差し引いた教育活動収支差額は、14億5,600万円（1億8,480万円減）の収入超過となっています。

②教育活動外収支

教育活動外収支は、受取利息・配当金や借入金等利息のように財務的な活動に伴う収入・支出です。

受取利息・配当金などの教育活動外収入4億3,845万円（11億1,040万円減）から借入金等利息などの教育活動外支出1億3,358万円（3,857万円減）を差し引いた教育活動外収支差額は、3億487万円（10億7,183万円減）の収入超過となっています。

以上により、経常的な収支を示す経常収支差額は、本業である教育活動収支差額14億5,600万円と財務活動等による収支を示す教育活動外収支差額3億487万円の計で、17億6,087万円の収入超過となりました。

【特別収支】

特別収支は、施設設備に関する寄付金・補助金や資産売却・資産処分等の臨時の収入・支出です。

有価証券の償還等による資産売却差額や施設設備に関する寄付金・補助金などの特別収入計8億8,036万円から資産処分差額、退職給与引当金特別繰入額などの特別支出計7億6,296万円を差し引いた特別収支差額は、1億1,740万円の収入超過となっています。

【当年度収支差額】

各区分ごとの計算から予備費を控除した結果、基本金組入前当年度収支差額は、16億4,376万円の収入超過となり、ここから基本金組入額13億2,600万円を控除すると、平成27年度の収支差額は3億1,776万円の収入超過となる見込みです。

平成26年度 資金収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

【収入の部】

(単位:千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	15,607,160	15,617,476	△ 10,316
手 数 料 収 入	1,045,732	996,784	48,948
寄 付 金 収 入	381,254	405,084	△ 23,830
補 助 金 収 入	1,502,632	1,574,430	△ 71,798
資 産 運 用 収 入	1,637,857	2,012,359	△ 374,502
資 産 売 却 収 入	613,200	1,162,078	△ 548,878
事 業 収 入	202,560	205,975	△ 3,415
雑 収 入	844,230	1,429,043	△ 584,813
借 入 金 等 収 入	4,000	1,400	2,600
前 受 金 収 入	7,054,574	7,301,962	△ 247,388
その他の 収 入	3,796,114	5,035,413	△ 1,239,298
資金収入調整勘定	△ 8,201,468	△ 8,179,179	△ 22,289
前年度繰越支払資金	14,465,517	14,465,517	
収入の部合計	38,953,363	42,028,342	△ 3,074,979

【支出の部】

(単位:千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	10,525,730	10,445,659	80,071
教育研究経費支出	4,750,393	4,166,426	583,967
管 理 経 費 支 出	1,098,551	990,128	108,423
借 入 金 等 利 息 支 出	172,158	172,156	2
借 入 金 等 返 済 支 出	2,631,780	2,631,780	0
施 設 関 係 支 出	822,593	455,153	367,440
設 備 関 係 支 出	402,425	342,941	59,484
資 産 運 用 支 出	4,554,401	5,650,001	△ 1,095,600
そ の 他 の 支 出	521,914	490,857	31,057
(予 備 費)	(0)	234,500	234,500
資金支出調整勘定	△ 462,035	△ 378,609	△ 83,425
次年度繰越支払資金	13,700,953	17,061,851	△ 3,360,898
支 出 の 部 合 计	38,953,363	42,028,342	△ 3,074,979

(注)金額は、千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

平成26年度 消費収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

【消費収入の部】

(単位:千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	15,607,160	15,617,476	△ 10,316
手 数 料	1,045,732	996,784	48,948
寄 付 金	381,254	405,084	△ 23,830
補 助 金	1,502,632	1,574,430	△ 71,798
資 産 運 用 収 入	1,637,857	2,012,359	△ 374,502
資 産 売 却 差 額	351,496	1,313,348	△ 961,852
事 業 収 入	202,560	205,975	△ 3,415
雑 収 入	844,398	1,430,859	△ 586,461
帰 屬 収 入 合計	21,600,322	23,589,466	△ 1,989,144
基本金組入額合計	△ 1,548,265	△ 1,023,402	△ 524,863
消費収入の部合計	20,052,057	22,566,064	△ 2,514,007

【消費支出の部】

科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	10,854,412	10,786,680	67,732
教 育 研 究 経 費	6,416,123	5,824,487	591,636
管 理 経 費	1,200,056	1,087,462	112,594
借 入 金 等 利 息	172,158	172,156	2
資 産 处 分 差 額	658,142	658,141	1
徴 収 不 能 金 繰 戻 し	407	0	407
(予 備 費)	(14,517)	219,983	219,983
消費支出の部合計	19,521,281	18,528,926	992,355
当 年 度 消 費 収 入 超 過 額	530,776	4,037,138	
前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	28,851,584	28,851,584	
基 本 金 取 前 額	1,813,703	1,813,702	
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	26,507,105	23,000,744	

貸 借 対 照 表

平成27年3月31日現在

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	70,066,544	固 定 負 債	8,950,369
有 形 固 定 賓	50,798,948	長 期 借 入 金	4,430,270
土 地	17,290,768	退 職 給 与 引 当 金	4,510,832
建 物	21,483,005	長 期 リース 未 払 金	4,102
構 築 物	20,725,514	長 期 預 金	5,164
教育研究用機器備品	1,029,179	流 動 負 債	12,042,777
その他の機器備品	41,323	短 期 借 入 金	1,336,580
図 書 輛	8,819,809	未 払 金	234,902
建 設 借 付 定	62,350	リース 未 払 金	7,869
その他の固定資産	19,267,596	前 受 金	7,306,438
電 話 加 入 権	10,296	預 金	3,156,988
意匠商標登録権	5,851	負 債 の 部 合 計	20,993,146
差 入 保 証 金	88,921		
有 価 証 券	400,250		
長 期 貸 付 金	43,256		
長 期 前 払 金	46,791		
退 職 給 与 引 当 付 定 資 産	37,995		
減 価 折 旧 付 定 資 産	3,571,100		
建設準備引当付定資産	2,229,825		
将來計画引当付定資産	1,668,650		
奨 学 金 引 当 付 定 資 産	2,557		
駒澤大学開校130周年記念棟建設事業資産	5,500,000		
駒澤大学高等学校校地拡張事業資産	900,000		
第3号基本金引当付定資産	1,051,340		
出 資 金	8,800		
流 動 資 產	18,228,336		
現 金 預 金	17,061,851		
未 収 入 金	676,898		
貯 藏 品	8,744		
短 期 貸 付 金	18,767		
有 価 証 券	330,717		
前 払 金	128,358		
立 替 金	3,002		
資 產 の 部 合 計	88,294,881	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	88,294,881

平成27年度 資金収支予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

【収入の部】

(単位:千円)

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	15,504,772	15,607,160	△ 102,388
手 数 料 収 入	996,892	1,045,732	△ 48,840
寄 付 金 収 入	381,254	381,254	△ 178,254
補 助 金 収 入	1,660,551	1,502,632	157,919
資 産 売 却 収 入	1,200,000	613,200	586,800
付 随 事 業 収 入	200,180	202,560	△ 2,380
受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	438,449	1,548,850	△ 1,110,401
雑 収 入	617,489	933,237	△ 315,748
借 入 金 等 収 入	2,504,000	4,000	2,500,000
前 受 金 収 入	6,901,635	7,054,574	△ 152,939
そ の 他 の 収 入	2,623,893	3,796,114	△ 1,172,221
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 7,688,156	△ 8,201,468	513,312
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	13,700,953	14,465,517	△ 764,564
収 入 の 部 合 計	38,863,658	38,953,363	△ 89,705

【支出の部】

(単位:千円)

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減
人 件 費 支 出	10,263,666	10,525,730	△ 262,064
教 育 研 究 経 費 支 出	4,720,046	4,750,393	△ 30,347
管 理 経 費 支 出	865,645	1,098,551	△ 232,906
借 入 金 等 利 息 支 出	133,584	172,158	△ 38,574
借 入 金 等 返 済 支 出	1,336,580	2,631,780	△ 1,295,200
施 設 関 係 支 出	4,015,200	822,593	3,192,607
設 備 関 係 支 出	641,298	402,425	238,873
資 産 運 用 支 出	2,950,001	4,554,401	△ 1,604,400
そ の 他 の 支 出	478,538	521,914	△ 43,376
(予 備 費)	234,500	234,500	0
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 475,304	△ 462,035	△ 13,269
翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	13,699,904	13,700,953	△ 1,049
支 出 の 部 合 計	38,863,658	38,953,363	△ 89,705

(注)金額は、千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

平成27年度 事業活動収支予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

区分	科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減
教育活動収支	学 生 生 徒 等 納 付 金	15,504,772	15,607,160	△ 102,388
	手 数 料	996,892	1,045,732	△ 48,840
	寄 付 金	122,150	248,340	△ 126,190
	経 常 費 等 補 助 金	1,530,551	1,485,541	45,010
	付 随 事 業 収 入	200,180	202,560	△ 2,380
	雑 収 入	617,657	933,405	△ 315,748
教 育 活 動 収 入 計	18,972,202	19,522,738	△ 550,536	
人 件 費	10,217,297	10,265,349	△ 48,052	
教 育 研 究 経 費	6,326,455	6,416,123	△ 89,668	
管 理 経 費	972,450	1,200,056	△ 227,606	
徴 収 不 能 額 等	0	407	△ 407	
教 育 活 動 支 出 計	17,516,202	17,881,935	△ 365,733	
教 育 活 動 収 支 差 額	1,456,000	1,640,803	△ 184,803	
受 取 利 息 ・ 配 当 金	438,449	1,548,850	△ 1,110,401	
そ の 他 の 教 育 活 動 収 入	0	0	0	
教 育 活 動 外 収 入 計	438,449	1,548,850	△ 1,110,401	
借 入 金 等 利 息	133,584	172,158	△ 38,574	
そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	0	0	
教 育 活 動 外 支 出 計	133,584	172,158	△ 38,574	
教 育 活 動 外 収 支				

ラグビーフットボール部

15人の仲間で楕円球をつなぐスポーツ。今回のサークル訪問は、フィールドを駆け抜けるラグビーフットボール部を紹介します。

現在所属している部員は男子部員33人、女子部員1人、マネージャー2人。昨年から部の体制が大きく変わり、女子部員の勧誘を積極的に行っているそうです。部をPRするための動画作成やラグビー教室の開催など、より多くの人にラグビーを知ってもらうための活動も行っています。

週6日間ある厳しい練習を積み重ね、上位リーグ昇格の目標を掲げているラグビー部。日々のトレーニングで、強いフィジカルと複雑な戦術を操る頭脳の2つを鍛えています。



たとか、そういう残りの1割がすごく大きいなって思います」と、

サークルの活動予定

声援歓迎

体育会

弓道部

- 第63回全日本学生弓道選手権大会／8月11日(火)～8月13日(木)／日本ガイシスポーツプラザ日本ガイシホール
- 第46回全日本学生弓道遠の選手権大会／8月14日(金)／南山大学名古屋キャンパス競技場特設弓道場

剣道部

- 第64回関東学生剣道優勝大会／9月13日(日)／日本武道館
- 第41回関東女子学生剣道優勝大会／9月19日(土)／東京武道館

ゴルフ部

- 平成27年度関東大学秋季Bブロック対抗戦／9月15日(火)・16日(水)／フレンドシップカントリークラブ

サッカー部

- 第89回関東大学サッカーリーグ戦(後期)／9月～11月／味の素フィールド西が丘 他

射撃部

- 平成27年度関東学生ライフル射撃選手権秋季予選会／8月13日(木)～8月16日(日)／長瀬総合射撃場
- 平成27年度関東学生ライフル選手権秋季大会／9月17日(木)～9月20日(日)／長瀬総合射撃場
- 平成27年度関東学生デジタルピストル大会／9月17日(木)～9月20日(日)／長瀬総合射撃場

自動車部

- 2015年度全日本学生ジムカーナ選手権大会／(予選)8月22日(土)／(決勝)8月23日(日)／鈴鹿サーキット国際南コース
- 全日本エコドライブチャンピオンシップ2015／8月24日(月)／鈴鹿サーキット本コース

相撲部

- 第5回全日本大学選抜相撲金沢大会／7月19日(日)／石川県金沢市卯辰山相撲場
- 第42回東日本学生相撲個人体重別選手権大会／7月26日(日)／靖国神社相撲場
- 第64回東日本学生相撲リーグ戦／9月5日(土)・6日(日)／靖国神社相撲場

卓球部

- 第85回全日本大学総合卓球選手権大会・団体の部／7月16日(木)～7月19日(日)／愛媛県武道館
- 平成27年度秋季関東学生リーグ戦／9月7日(月)～9月9日(水)／川崎市・とどろきアリーナ
- 平成27年度秋季関東学生リーグ戦／9月14日(月)・15日(火)／代々木第2体育館
- 第9回関東学生チームカップ・Aブロック(1・2部)／10月7日(水)・8日(木)／駒沢体育館

日本拳法部

- 日本拳法第26回東日本大学選手権大会／10月11日(日)／慶應義塾大学日吉校舎記念館
- 日本拳法第9回東日本大学女子選手権／10月11日(日)／慶應義塾大学日吉校舎記念館
- 日本拳法第8回東日本大学形選手権／10月11日(日)／慶應義塾大学日吉校舎記念館

硬式野球部

- 平成27年度東都大学野球秋季リーグ戦／9月8日(火)～10月21日(水)／神宮球場

ラグビーフットボール部

- 関東大学ラグビーフットボール部2015秋季リーグ戦／9月～12月／駒澤大学玉川キャンパス 他

陸上競技部

- 第27回出雲全日本大学選抜駅伝競走／10月12日(月)／出雲大社正面鳥居前～出雲ドーム前

チアリーディング部 BLUE JAYS

- JAPAN CUP 2015 日本選手権大会／8月28日(金)～8月30日(日)／国立代々木競技場第1体育館

男子ラクロス部

- 第28回関東学生リーグ戦／8月13日(木)～10月上旬／駒沢オリンピック公園第2球技場
- 新人戦サマーステージ／8月29日(土)・30日(日)／江戸川区臨海球技場(予定)

女子ラクロス部

- 第28回関東学生リーグ戦／8月13日(木)～10月上旬／駒沢オリンピック公園第2球技場
- 新人戦サマーステージ／8月29日(土)・30日(日)／江戸川区臨海球技場(予定)

体育会本部

- 2015スポーツフェスティバル in 玉川／10月4日(日)／駒澤大学玉川キャンパス

大会の詳細はホームページでご確認ください。
皆さんの応援をお願いします!

2015 オープンキャンパス情報

7/19(日)・20(月・祝)、8/1(土)・2(日)、9/13(日)

今年も恒例のオープンキャンパスを開催します。受験生や保護者などに広く駒澤大学を見ていただこうという行事です。

当時は、大学の概要や入試説明・学部学科の模擬授業など、魅力的な催しが満載です。現役学生も、ボランティアで多数参加しています。

(入学センター)



KOMAZAWACHANNEL

昨年、受験生サイトがオープンしました。現役駒大生も登場していますので是非ご覧ください。

URL : <http://komach.komazawa-u.ac.jp/>



サークルの活動報告



ボクシング部



田中亮明選手(商4)が、4月20日～25日にインドネシアで開催された「第22回ブレジデントカップ国際トーナメント」フライ級に(社)日本ボクシング連盟派遣選手として出場し、銅メダルに輝きました。田中選手にとって、初めての海外試合でメダル獲得となりました。

自転車部



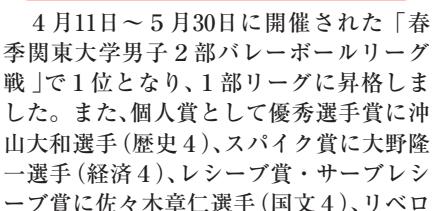
樋木祥子選手(歴史4)が、4月8日～10日にタイで開催された「Women's Tour of Thailand 2015 (2.2)」に日本代表選手として出場し、また6月13・14日に開催された「第31回全日本学生選手権個人ロードレース大会」では女子学生大会最長となる100kmコースで優勝しました。

体操競技部



4月24日～26日に開催された「第30回東日本学生体操競技グループ選手権大会」で、女子団体選手権の部で優勝しました。

男子バレーボール部



4月11日～5月30日に開催された「春季関東大学男子2部バレーボールリーグ戦」で1位となり、1部リーグに昇格しました。また、個人賞として優秀選手賞に沖山大和選手(歴史4)、スパイク賞に大野隆一選手(経済4)、レシーブ賞・サーブリシーブ賞に佐々木章仁選手(国文4)、リバロ

賞に藤岡翔太選手(グローバル・メディア2)が選ばれました。

少林寺拳法部

5月4日に開催された「第52回少林寺拳法関東学生大会」で、山下茜選手(禅4)と松岡真弓選手(歴史4)が女子初段の部で優勝しました。

卓球部

5月13日～17日に開催された「平成27年度春季関東学生卓球リーグ戦1部」で、松田尚樹選手(経営2)が敢闘賞と優秀選手賞を受賞しました。

硬式野球部

4月7日～5月28日に開催された「平成27年度東都大学野球春季リーグ戦1部」で、岡田耕太選手(経営1)が新人賞を受賞しました。

ゴルフ部

6月7・8日に開催された「第19回全国視覚障害者ゴルフ競技会」で、3人の部員がボランティアでパートナーなどを務めました。

空手道部

6月27・28日に開催された「第58回全国空手道選手権大会」に出席し、男子団体形・女子団体形・女子団体組手で優勝しました。

陸上競技部

中谷圭佑選手(経済3)と工藤有生選手(政治2)が、7月3日～14日に韓国・光州で開催される「第28回ユニバーシアード競技大会」の日本代表選手に選ばれました。

管弦楽団

6月6日に、駒沢キャンパス記念講堂で「第33回春季演奏会」を開催しました。

吹奏楽部

6月21日に、駒沢キャンパス記念講堂で「サマーコンサート2015」を開催しました。

合唱団

6月27日に、小金井宮地楽器ホールで合唱団エトワーユとの「第17回ジョイントコンサート」を開催しました。

KST (Komazawa Street Tribe)

4月26日に開催された「DANCE@LIVE JAPAN FINAL 2015」RIZE部門でチームGarglingが優勝し、大会を2連覇しました。



SPRING FESTIVAL 開催

5月16日(土)に教育後援会主催スプリングフェスティバルを開催しました。大学公認サークル12団体による演奏・演武・展示などをはじめ、制作・照明・音響に至るまでそれぞれサークルの特色が発揮されたサークル発表会になりました。熱い想いを表現する学生の姿は来場者の胸を打ったのではな

いでしょうか。

教育後援会は、今後も学生を支援し、保護者相互の親睦を深めるために様々な活動をして参ります。是非来年のスプリングフェスティバルには皆さま足を運んでいただき、学生が活躍する姿を楽しんでください。

(教育後援会)



グローバル・メディア・スタディーズ学部が開設から10年目記念事業を企画・開催

2006年の学部開設当時、“グローバル”という言葉にはまだ慣れない空気が漂っていました。10年目を迎えた今、本学部の卒業生も今年3月で6期生が巣立ち、現在2100人を超えるグローバル・メディア・スタディーズ(GMS)学部生たちが世界で活躍するようになりました。

そこで今年一年は“GMS学部創立10周年記念イヤー”と位置づけ、改めて“グローバル”と“メディア”について再考する一年として多くの企画を用意しています。すでに学内ニュースには第1弾(5/16)、第2弾(6/6)、第3弾(6/12)とプレスリリースされました。他、10月31日(土)には

一期生から現役生まで一同に会する場として初めてのGMS学部同窓会の開催、11月20日(金)にはアカデミーホールにて、オックスフォード大学教授を招聘し、“グローバリゼーションの進展とメディアの役割”というテーマで国際シンポジウムを開催します。“地球市民として必須の教養を身に付けること”を目標とした企画にご期待ください。

(グローバル・メディア・スタディーズ学部長 各務 洋子)



gms 10th
KOMAZAWA UNIVERSITY

学部創立10周年記念
シンボルマーク

KOMAZAWA NEWS

世田谷の大学間連携が充実

e-learningによる学習サイト「せたがやeカレッジ」は、今年度から世田谷区と国士館、昭和女子、東京農業、駒澤の4大学に東京都市大が加わりコンテンツが一層充実。また、世田谷6大学

コンソーシアム(左記5大学と成城大)においては、相互連携授業を開始。今年度は本学文学部・大城道則先生が東京都市大で「古代エジプト学」の講義を行います。

体育館及び周辺の解体工事が開始

開校130周年記念棟建設に向けて、5月より体育館(6号館)周辺の工事が始まりました。これに伴い、体育館内の「一仏両祖像」を記念講堂に遷座したほか、体育館及び喫茶パオをはじめとする中庭の解体工事を進めています。



インドネシア・バタム国際大学とSEAMOLECの代表者が本学を訪問

インドネシアのバタム国際大学の副学長2人とSEAMOLEC(東南アジア教育大臣機構の専門センターのひとつ)の代表者2人が本学を表敬訪問し、本学の図書館・禅文化歴史博物館・日本語授業を見学されました。



文学部の川崎由意さんが女子プロボウラーに

国文学科4年の川崎由意さんが「第48回女子プロボウラー資格取得テスト」に合格しました。これまで本学ボウリング部に所属し練習を重ねてきましたが、これからは女子プロボウラーとしての活躍が期待されます。



MOS世界学生大会で決勝進出

法律学科3年の増田いづみさんと商学科1年の榎田峻さんが「マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)世界学生大会2015 日本代表選考」に出場し、一次選考で入賞しました。また榎田さんはパワーポイント部門の日本代表に選出され、8月にアメリカで開催される決勝戦に出場します。



消防訓練を実施

駒沢キャンパスで、教職員等を対象に消防訓練を実施しました。消火器の操作訓練や、避難器具を使用した避難訓練、通報訓練等が行われました。今後も、学生の皆さんのが安全に学べる環境づくりに努めています。



●前期科目定期試験日程及び後期履修登録・訂正について

関連行事日程 〈教務部第1掲示板及びKONECO掲示で詳細を確認ください〉

1) 前期科目定期試験	7月25日(土)～31日(金)※日曜は除く
2) 追試験受験願提出締切	8月4日(火)17時まで教務部⑧番窓口
3) 前期科目追試験	8月17日(月)～22日(土)
4) 前期科目成績発表	8月19日(水)KONECOで発表
5) 成績調査願受付	8月19日(水)～28日(金)正午まで ※土・日は除く
6) 前期科目追試験成績発表	8月27日(木)KONECOで発表
7) 後期科目履修登録・訂正期間	9月14日(月)～22日(火)KONECOで登録

※ 試験時間は、通常の授業時間と異なります。履修要項等で要確認！

※ 試験のときは学生証を忘れずに！！

1. 前期科目定期試験

試験は、授業と同じ曜日・時限で実施します。ただし、試験教場は授業教場と異なりますので、指定された教場で受験してください。玉川キャンパス受講科目の試験も駒沢キャンパスで実施します。

2. 「追試験受験願」の提出

前期科目の定期試験をやむを得ない理由で受験できなかった場合、「追試験受験願」（証明書を添付）提出の上、追試験を受験できます。

3. 前期科目追試験

- (1) 「追試験受験願」提出者のみが受験できます。試験は授業と同じ曜日・時限で行われ、教場は別途掲示されます。
- (2) 定期試験を実施しない科目は、追試験を実施しません。

平常の授業内に、担当教員が試験を実施する場合があります。担当教員より教務部へ依頼があった場合のみ、教務部第4掲示板及びKONECOに案内を掲示します。やむを得ず欠席をする場合は、担当教員に直接相談してください。

4. 後期履修登録・訂正期間

この期間は、年間履修制限単位数の残り単位数の範囲内で、後期開講科目を追加履修及び取り消しをすることができます。履修登録・訂正是KONECOで行い、登録は定員の空き状況に応じて先着順となります。

海外渡航する際の「在留届」及び「たびレジ」への登録について

海外における邦人殺害テロ事件が発生したことを受け、外務省では、海外安全ホームページに掲載する渡航情報について全ての海外旅行者に注意を促すとともに、海外に3ヵ月以上の滞在を予定している邦人には「在留届」提出の徹底を、3ヵ月未満の滞在を予定している邦人には外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録を呼びかけています。「たびレジ」とは「在留届」提出義務の対象となっていない3ヵ月未満の短期渡航者（海外旅行者・出張者）が、外務省ホームページに新設する専用サイトに必要事項（旅行日程、滞在先、連絡先など）を入力することにより、渡航情報や緊急事態発生時の情報提供を受け取れるシステムです。本学の学生・院生及び教職員においても、海外渡航の際には、「在留届」及び「たびレジ」への登録を行ってください。

- ・「在留届」について
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/>
- ・「たびレジ」について
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>
- ・「在留届」「たびレジ」登録について
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>
- ・「外務省海外安全ホームページ」
<http://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>

(国際センター)

●夏季休業中の窓口事務の取り扱い

8月1日(土)～9月15日(火)

	日	月	火	水	木	金	土	
								1
8月	2	3	4	5	6	7	8	
	9	◆ 10	◆ 11	◆ 12	13	14	15	
	16	◆ 17	◆ 18	19	20	21	◆ 22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31	1	2	3	4	5	
9月	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15					

1. 事務取扱日

- 上記カレンダー参照—
(1) □印 事務取扱日 (2) ▨印 全学休業日
◇ 8/10・11・12・17・18は、キャリアセンター取扱日です。
◆ 8/17・18・22は、教務部の追試験・夏季集中授業の取扱日です。

2. 事務取扱について

- (詳細はホームページをご覧ください)
(1) 教務部・学生部・キャリアセンター・国際センター事務室
9時～17時 (12時30分～13時30分休止)
※ 教務部とキャリアセンターは全学休業日に開室する日があります。

- (2) 図書館 9時～17時 ※開館日については図書館ホームページを参照。
(3) 財務部 9時～16時30分 (12時30分～13時30分休止)
(4) 総合情報センター

[サポート窓口] 9時～17時 / [自習室] 9時～16時30分

- (5) 保健管理センター 9時～17時 (12時30分～13時30分休止)

- (6) 学生相談室 9時～17時

- (7) 夜間事務センター 16時～21時

3. 証明書等の発行および受付について

- (1) 証明書自動発行機の稼働時間は、事務取扱日の9時～19時30分
なお、□印の8月7日(金)は9時～16時。
(2) 電話・郵便による各種証明書の申請はできません。使用する予定がある場合は、夏季休業前に多めに証明書を用意してください。
(3) 後期休学を希望する者は、8月19日(水)以降、教務部⑪番窓口にて休学願を受け取ってください。(締切9月11日(金)期日厳守)
(4) 大学院生の証明書は、事務取扱日に教務部⑤番窓口で16時30分までに申し込んでください。

学内売店の営業時間について

夏季休業期間の学内売店の営業時間は、大学ホームページに詳しく掲載します。



『ゲームで世界が驚くことを仕掛け続けます』

株式会社スクウェア・エニックス 執行役員 橋本真司さん



1958年福岡県生まれ。1983年経済学部卒業。

(株)スクウェア・エニックス 執行役員。
ゲームプロデューサーとして『ファイナルファンタジー』シリーズや『キングダムハーツ』シリーズなど、数々の人気タイトルを世に送り出し、業界を牽引している。

テレビゲームの黎明期から現在まで、常に最先端で活躍し続ける橋本さんに、学生時代の思い出や成功の極意を伺いました。

---どんな学生生活を送りましたか？

サークルはSF・アニメ業界では有名な池田憲章さんが立ち上げたSF研究会（1975～88年度にかけて活動）に入りました。そこで紹介されたアルバイトが、徳間書店の月刊アニメージュ編集部。入学前から同人誌を作っていたので、趣味でお金がもらえるならと思い、働くようになりました。

大学に入学して、1年生の6月には名刺を持って取材っていましたね。担当させてもらったのはガンダム。ちょうど第1作の放送が始まった頃で、世間は大熱狂。僕も大好きでしたから、堂々と制作現場に行けるのが嬉しかったです。ガンダム総監督の富野由悠季さんにもインタビューし、担当したムック本シリーズが100万部超えの大ベストセラーになったことも。人脈ができて、テレビアニメや商品化の企画書もたくさん書きました。ガンダムのプラモデル「ガンプラ」の企画にも参加させていただき、すごく売れたんですがテレビCMの第一弾はターゲット年齢が低めに設定されていたので、第二弾以降は、CM演出まで関わらせて

もらいました。こんな話をすると学業はそっちのけだったと思われるかもしれません、留年はしていません。単位を落とさないようにちゃんと授業に出て、仕事は夜から。石井啓雄（※1）ゼミで勉強して、喫茶パオ（※2）でミートスパも食べていました（笑）。

---ゲーム業界に入ったきっかけは？

卒業後、(株)バンダイに就職しました。ガンプラの経験からプラモデルの仕事ができると思い込んでいたのに、配属されたのは家庭用ゲーム機とソフトを販売する部署でした。「最初から行きたい部署に行けるもんじゃないんだよ」なんて言われてね。でもその頃からアニメをゲームにする時代がくるかもしれないという噂はあって、研修のつもりで営業を頑張りました。

入社後すぐに任天堂からあの「ファミコン」が発売され、以降はファミコンソフトを扱うように。このとき宣伝担当した『キン肉マン マッスルタッグマッチ』も100万本を超えるヒット作です。33歳で独立して起業を経験したのちに、スクウェア（現スクウェア・エニックス）と合流して、『ファイナルファンタジーVII』以降のシリーズや『キングダム ハーツ』などのプロデュースに至ります。

---学生にメッセージをお願いします。

「自分が夢中になれて、人に自慢できる何かを一つ持つこと」です。僕が今やっていることは、基本的に18歳の頃と変わらないんですよ。3万円かけて作った同人誌を200人に売るのが、数十億円かけて開発したゲームを世界で売ることに変わっただけ。エンタメのコンテンツを作つてプロデュースするのが大好きなんです。自分が仕掛けたことで世界が驚いたときは、プロデューサー冥利につきますね。

大切なのは、好きなものを見つけるだけでなく、それがどう仕事に結びつくかを考えること。時代の流れを掴む力を持つことです。特化した知識は武器になり、そこから人脈も広がります。

©Disney

代表作のひとつとなっている
『キングダム ハーツ』の主人公ソラ

そのためには人を選ばずに会話できるコミュニケーション能力が不可欠です。僕自身、父が転勤族で転校ばかりでしたから、小さいときから輪に溶け込む方法は考えてきました。

今はスマホ1台あれば情報発信できて、瞬時にユーザーの反応まで知ることができる時代。ビジネスチャンスがたくさん転がっていて今の学生が羨ましいです。僕のときはパソコンもなかったですからね。

何かに打ち込んでいると、20～30代で一度起業のチャンスが巡ってきます。僕は独立を経験して、組織のありがたみを痛感しました。サラリーマンのときは給料日が待ち遠しかったのに、社長になるとそのお金を自分で集めてこなくてはならない。いかに企業の暖簾や看板に助けられながら仕事をしてきたかを気付かされました。大変でしたが、起業していた4年間一度も赤字を出さずに仕事を全うしたことは誇りですね。

若いうちは、恐れずチャレンジしてほしいと思います。

SQUARE ENIX.

■『ファイナルファンタジーVII』がPS4でリメイク決定！今冬に続報。

■PS4/Vita用ソフト『WORLD OF FINAL FANTASY』が2016年発売！
<http://www.jp.square-enix.com/>

※1：本学名誉教授（故人）。専門は経済政策。

※2：駒沢キャンパスにあった軽食店。2015年2月16日で営業を終了。